

令和7年度

社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1 法人運営事業

(1) 社会福祉法人制度改革への対応及び組織の強化

- ① 適正な法人運営（理事会、評議員会の開催）
- ② 透明性の向上（コンプライアンス意識向上、個人情報の保護の徹底）
- ③ 会員組織の拡充（会員組織の拡充、賛助会員の増加）
- ④ その他（安全衛生委員会、個人情報適正委員会の開催）

事業名	時期	内容
理事会	6月6日	事業・決算報告など（13人出席）
	6月24日	会長・副会長の選任（15人出席）
	3月12日	事業計画・予算案など（14人出席）
評議員会	6月24日	事業・決算報告など（16人出席）
	3月26日	事業計画・予算案など（17人出席）
職員研修会	2月3日 2月9日 2月12日 2月17日 2月19日	コンプライアンス研修
会員組織	通年	組織構成会員： 24団体（昨年度25団体） 賛助会員：法人 12団体（昨年度15団体） 個人 28人（昨年度32人）
安全衛生委員会	通年	職員の安全と健康を守るための対策など（12回）
個人情報適正委員会	1月15日	個人情報の取扱い、セルフチェック表の見直し

(2) 善意銀行の運営

- ① 受付・払出（日常的に受付、福祉事業や団体の活動に払出）
- ② 払出先の募集（払出先の募集・審査、適切な助成）

事業名	時期	内容
善意銀行の運営	通年	寄付等受付：16件、払出：29団体
運営委員会 (払出部会)	6月6日	収支報告、特定テーマ払出申請団体など(5人出席)
	12月16日	地域福祉の推進に係る援助事業に対する助成など(4人出席)
払出先の助成	通年	「福祉ボランティア活動応援資金」 19団体 区民生委員児童委員協議会 「障がい児・者への支援のための基金」 4団体 「子ども・子育て支援のための基金」 5団体

(3) 広報・啓発活動「社会福祉協議会活動の見える化」

- ① 情報発信の充実（「区社協だより」の発行、ホームページ、公式LINE、パンフレットやリーフレットなどを活用）
- ② 区社協の見える化の推進（区社協キャラクター「ふくふ君」を活用した会員募集や事業周知、区社協ユニフォームの活用）

事業名	時期	内容
区社協だより	秋号（8月）	62,000部、各戸配布・配架・送付など
	春号（1月）	62,000部、各戸配布・配架・送付など
情報発信	通年	ホームページ、公式LINEの活用
		パンフレット、リーフレットの活用

(4) 関係機関等との連携・協力

- ① 共同募金への協力（共同募金運動の広報や啓発、街頭募金活動の実施、配分金の配分）
- ② 日赤業務との連携・協力（社資募集業務に協力）
- ③ 各地域団体との連携・協力（区地域振興会、地域社協委員長会の開催）

事業名	時期	内容
共同募金	通年	共同募金の配分金（2, 282, 097円） （配分先：金婚夫婦お祝い品（152組）、各地域社協、区老人クラブ連合会、区民生委員児童委員協議会、NPO法人にしよどにこネット、区体育厚生協会、区子ども会育成連絡協議会、ウエルカムバンクにしよど、絵本の会ぽけっと、ふくふくカフェ、区社協だより）
		地区募金会事務
		10月1日～12月31日「赤い羽根共同募金運動」街頭募金活動及び一般募金実績（3, 658, 362円）
日赤活動	通年	社資募集に協力
地域団体活動支援	通年	地域振興会会長会（第4水曜日、12回） 地域社協委員長会（1回）

2 地域福祉活動支援事業

住民参加協働による福祉活動の充実、福祉コミュニティづくりに向けて、西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画「あいあいプラン」の推進や地域福祉活動連絡会を開催した。また、ボランティアエキスポの開催や小中学生向けの福祉教育などに取り組んだ。

（1）地域生活課題の予防・解決に向けた小地域福祉活動の支援

- ① 地域福祉計画・地域福祉活動計画「西淀川あいあいプラン」の推進（推進会議、評価委員会、各部会の開催）
- ② 地域福祉活動連絡会の開催
- ③ 地域アセスメントデータの整備と活用
- ④ 社会福祉講演会の開催
- ⑤ ドラ☆パンにしよどの開催

事業詳細	時期	内容
①あいあいプランの推進	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進会議（2回・参加者：延べ44人） ・企画会議（5回・参加者：延べ66人） ・ちょこっと♡助っ人ポイント制度（部会6回・参加者：延べ49人） ・～にしよどLOVE～となりのお節介さん～（部会5回・参加者：延べ34人） ・ウエルカムバンク～ウエルカムな気持ちを届けるバンク～（部会2回・参加者：延べ19人）

事業詳細	時期	内容
②地域福祉活動 連絡会の開催	通年 (奇数月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 8日 参加者：47人 テーマ：「認知症にやさしい郵便局の取組み」 ・ 7月10日 参加者：48人 テーマ：「身近な食品衛生」 ・ 9月11日 参加者：45人 テーマ：「特殊詐欺に遭わないために」 ・ 11月13日 参加者：44人 テーマ：「地域における見守りについて」 ・ 1月8日 参加者：69人 テーマ：「地域でいつまでもいきいきはつらつと暮らすために～生活支援コーディネーターの役割～」 ・ 3月12日 参加者：45人 テーマ：「日常の活動から見た「西淀川あいあいプラン」」
③地域アセスメント データの整備と活用	通年	地域支援業務システムを使い、地域の情報を整備
④西淀川区社会福祉 講演会（映画上映会） の開催	2月21日	内容：映画「体操しようよ」 あいあいプラン紹介動画上映 参加者：176人
⑤ドラ☆パンにしよど の開催	年4回	<p>【フードドライブ】</p> <p>第1回 5月25日（会場：近藤技研工業 西淀川区民ホール）</p> <p>第2回 8月27日～9月1日（会場：区社協等）</p> <p>第3回 実施なし</p> <p>第4回 実施なし</p> <p>【フードパントリー】</p> <p>第1回 6月21日 参加者：43世帯</p> <p>第2回 9月20日 参加者：42世帯</p> <p>第3回 12月6日 参加者：58世帯</p> <p>第4回 3月14日 参加者：53世帯</p>

（2）参画・協働による地域づくり・場づくり

- ① ボランティア・市民活動の推進（相談・支援、需給・調整、「ボランティア情報誌」の発行、機材やスペースの貸出、助成の案内・申請受付、「ボランティア保険の受付・取次ぎ」）
- ・ ボランティア・市民活動センターの運営（ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催）
 - ・ ボランティアの発掘・育成（スマホサポーター養成講座、保育ボランテ

ィアサロン、保育ボランティアセミナー等の開催及び支援、個人ボランティア交流会の開催)

・多様な活動の連携・協働推進(「にしよどリンク(異業種交流会)」「ボラセンGO!連絡会」「ボラセンGO-GO」の開催)

② 各種団体・関係機関・施設との連携強化(「社会福祉施設連絡会」「子ども・子育て支援連絡会」「自立支援協議会」等の開催及び参画)

事業詳細	時期	内容
①ボランティア・市民活動の推進		
運営委員会	7月28日 10月27日 2月10日	出席者：9人 活動報告、事業計画など 出席者：6人 活動報告、個人ボランティア支援についてなど 出席者：6人 活動報告、個人ボランティア交流会等
ボランティア養成講座	8月～10月 1月28日 2月20日 2月18日 25日	スマホサポーター養成講座 参加者：12人 保育ボランティア養成講座 参加者：3人 スマホのワンポイント講座 参加者：18人 ボッチャボランティア養成講座 参加者：8人
個人ボランティア交流会	3月5日	参加者：14人 会場：区社協2階ボラセン 内容：eスポーツ体験会等
ボラセンGO連絡会	年6回 (奇数月第3金)	参加者：延べ99人 内容：ボランティアグループ活動紹介、ボランティアエキスポについて、運営委員会の報告等 ※ボラセンGO-GO(同連絡会の内容を検討する企画会議)年6回(偶数月の第3水)
第6回ボランティアエキスポ	5月25日	参加者：531人 内容：ボランティアグループブース出展、舞台発表、福祉作業所物販等 ※ボランティアエキスポ実行委員会(5回)
にしよどリンク	年6回(偶数月)	参加者：延べ151人 内容：プレイヤーズタイム、交流会、グループワーク、情報交換等 ※にしよどリンク企画会議(奇数月年6回)
②各種団体・関係機関等の継続支援		
子ども・子育て支援連絡会	月1回(第1火)	出席者：延べ172人 内容：構成メンバー同士の情報交換、子ども・子育て関連事業への協力等

事業詳細	時期	内容
社会福祉施設連絡会	総会 1 回 連絡会 3 回 役員会 3 回	(総 会) 出席者：22人 内 容：事業・決算報告、計画報告 ・予算(案)について (連絡会) 出席者：延べ47人 内 容：西淀川区防災について、普 通救命講習等 (役員会) 出席者：27人 内 容：連絡会の内容検討等
西淀川区障がい者地域 自立支援協議会	年7回	出席者：延べ86人 内 容：各部会からの報告、区内事業所の課題 について、各部会の名簿作成について 等
西淀川子どもネット	年6回	出席者：延べ74人 内 容：研修会、食材・寄付物品関連、グルー プワーク等
その他	随時	包括支援センターの地域課題会議等

(3) 地域における共生をめざした福祉教育の推進

- ① 福祉教育の推進と支援 (小・中・高等学校での福祉体験学習支援)
- ② 認知症の理解促進 (キャラバン・メイト連絡会の開催、「認知症サポーター養成講座」の実施支援)
- ③ 用具等の貸出・払出 (車いすの貸出、寄付物品などの払出)

事業詳細	時期	内容
①福祉教育の推進と支援		
福小学校	9月12日 10月29日 12月16日 1月30日 2月6日 2月27日	3・4年生30人 思いやりの心を学ぼう 3・4年生30人 車いす体験 3・4年生33人 アイマスク手引き体験 3・4年生33人 車いすダンス・車いすバスケ 3・4年生33人 手話講座 3・4年生33人 バリアフリー&ユニバーサルデザ イン、1年間の振り返り
御幣島小学校	12月1日	2年生70人 聴覚障がい、手話について
香簍小学校	12月5日	4年生17人 車いす体験

事業詳細	時期	内容
佃西小学校	11月14日	4年生88名 車いすダンス、車いすバスケット
②認知症の理解促進		
・認知症サポーター養成講座（4回）		受講者：63人
・キャラバン・メイト連絡会（6回）		参加者：延べ67人
③用具等の貸出・払出		
大型遊具の貸出（6件）、車いすの貸出し（117件）、ロックペイント株式会社寄付物品払出（22件 トマト）		

（4）災害発生時における支援体制の強化

- ① 大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進
- ② 防災対策委員会の実施
- ③ 災害対策本部設置訓練の実施

事業詳細	時期	内容
①大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進		
災害対策委員会	年5回	災害対応マニュアルの更新 （初期行動、BCP、災害ボランティアセンター運営等）
②防災対策委員会の実施		
防災対策委員会	※上記に含む	災害対策委員会として再編成し、実施。
③災害対策本部設置訓練の実施等		
災害対策本部 設置訓練	12月23日	災害対応マニュアルに沿って、発災後から災害ボランティアセンター設置に至るまでの初動対応および災害対策本部設置の訓練を実施。

3 要援護者の見守りネットワーク強化事業（見守り相談室）

福祉専門職の「見守り支援ネットワーカー」と、各地域に配置する「地域福祉活動支援コーディネーター※」が連携し、支援を要する世帯の早期発見、早期支援のための、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの構築を支援した。

※「地域福祉活動支援コーディネーター」とは、地域で孤立する要援護者（高齢者や障がい者など）を地域で把握し、地域での見守り支援や専門機関への橋渡しを行うことを目的に各地域に配置。

(1) 要援護者支援の充実

- ① **要援護者情報の集約・提供**…行政が保有する要援護者情報を集約し、地域団体等への情報提供にかかる同意確認を進め、地域の見守り活動等につないだ。また、地域の実態を反映した要援護者名簿の整備を進め、各地域に名簿提供及び更新をしたうえで、地域住民が主体となる見守り活動（見守りネット倶楽部）を支援した。
- ② **援護が必要な人の発掘・つなぎ**…支援が必要にもかかわらず、福祉サービスや地域における見守り活動等の支援を受けていない人や制度の狭間で専門的な対応が必要な孤立世帯等に対して、「見守り支援ネットワーク」が積極的に向き、支援のニーズに応じて適切な関係先と調整し、福祉サービスや地域の見守り活動等につないだ。
- ③ **認知症高齢者見守りネットワークの構築**…認知症高齢者等の行方不明時の早期発見、保護のための仕組みとして、認知症事前登録及び協力者へ「発見メール」を配信した。

事業名	時期	内容
要援護者情報の集約・更新	通年	見守り支援ネットワーク（2名配置）
		地域福祉活動支援コーディネーター（13名配置）
	2月～3月	同意確認（郵送989件・回答数500件・同意282件） （訪問372件・回答数278件・同意162件）
	通年	要援護者名簿の整備及び名簿提供の更新
援護が必要な人の発掘・つなぎ	通年	見守り支援ネットワーク及びコーディネーターによるアウトリーチ （訪問239件・電話650件・来所155件・その他90件）
認知症高齢者見守りネットワークの構築	通年	事前登録者：227人 協力者（メール配信先）：174件 配信依頼件数：4件（発見件数：3件） 見守り声かけ訓練（協力者連絡会）1回
事業周知	通年	見守り相談室映画上映会 1回 地域のサロン等での周知 15回

(2) 多様化する生活課題・福祉課題への対応

- ① **包括的・重層的な相談支援の強化**…住民の抱える多様な困りごとを受け止め、適切なサービスにつなぐことができるよう、地域及び専門職との連携を強化した。

- ② 「見守りネット倶楽部」の推進・地域福祉の担い手の育成…高齢者や障がい者など、支援を必要とする人を地域でゆるやかに見守ることができるよう、「見守りネット倶楽部」の構築を支援した。

事業名	時期	内容
相談支援体制の強化	通年	地域福祉活動連絡会、安心安全連絡会、総合相談連絡会、包括地域ケア会議等への出席に～よんサロンの開催（多職種との協働開催）
見守りネット倶楽部サポーター会議等への出席	通年	香簗地域1回、竹島地域1回、姫里地域1回、大野百島地域1回、川北地域1回

4 生活支援体制整備事業

介護予防・フレイル予防を目的とした地域の身近な活動の場・居場所の創出及び介護保険制度ではまかなうことができない多様な生活支援の体制整備のため、関係機関及びボランティア団体・民間企業・社会福祉法人などとネットワーク（協議体）を構築し、地域の課題・ニーズの把握、取組みについて協議した。令和3年度より配置した「第2層生活支援コーディネーター（日常生活圏域ごとに1名）」による、身近な生活支援・介護予防の充実に向けた支援強化に努めた。

（1）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

① ニーズと地域資源の把握

- ・地域活動や会議などで地域住民及び関係機関の声をききとり
- ・地域アセスメント部会に参画し地域資源及び地域課題の把握
- ・インフォーマルサービス一覧表の更新

② 第1層協議体会議の開催（ネットワークの構築）

- ・三師会をはじめとする関係機関、地域振興会、民生委員・老人クラブ、行政等が集まる「協議体会議」、議題等に応じた「ワーキング部会」を開催した。

③ 第2層協議体会議の開催（ネットワークの構築）

- ・地域福祉活動者、地域福祉活動支援コーディネーター、地域包括支援センター、健康サポート薬局、介護保険サービス事業者等が集まる「協議体会議」、議題等に応じた「ワーキング部会」を開催した。

(2) 地域資源・サービスの開発等

① 地域資源・サービスの立上げ支援

- ・新たな地域資源・サービスの立上げを支援した。

② 地域資源・サービスの継続支援

- ・活動の継続に向けた支援及び新たな活動への発展を支援した。

③ 講座等の開催

- ・新たな担い手の発掘及び養成を目的とした講座等を開催した。

④ 活動の場の発掘・開発

- ・有効活用可能なスペースなどを発掘し、新たな地域資源として活用した。

(3) サービス実施情報の周知等

- ・西淀川区[㊦]に～よん参考書～コミュニティ情報編～などを用いてサービス実施情報の周知を行った。また最新のサービス実施情報を周知するために西淀川区[㊦]に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～別冊こんなときどうする？お役立ち一覧の更新を行った。

(4) ニーズと地域資源のマッチング

- ・地域のニーズと地域資源のマッチングを行った。

事業名	時期	内容
ニーズと地域資源の把握	通年	自立支援型ケアマネジメント検討会議でのニーズの把握 介護予防教室や、地域活動（食事サービス・ふれあい喫茶等）に参加し、興味・関心がある活動等についてヒアリングを実施
ネットワークの構築	通年	第1層協議体会議（2回） 第2層協議体会議（1回） いきいき・はつらつミーティング〔区全域〕（4回） いきいき・はつらつミーティング 〔西淀川区圏域〕（2回） いきいき・はつらつミーティング 〔西淀川区南西部圏域〕（2回） 有効活用ネットワーク部会（6回） 在宅医療・介護連携推進事業区民啓発部会（4回）

事業名	時期	内容
地域資源・サービスの の立上げ支援	通年	新規立上げ支援（4か所） 【運動】 元気アップ体操 【交流】 花苗の入れ替え 【買い物】 移動スーパーとくし丸（姫島地域） 移動スーパーとくし丸（福地域）
地域資源・サービスの の継続支援	通年	既存資源の拡充（3か所） さくらんぼの会、に～よんサロン、 スマホクラブ 既存資源の継続支援（21か所） 【趣味】 ふれあい麻雀クラブ、ふれあい麻雀クラブ2 健康麻雀クラブ、ふくふく虹色ガーデン、書道活動 ゆいま～る福ふれあいマーじゃん、健康麻雀 ふれあい健康麻雀 【運動】 Let'sGo!トレ塾百歳体操 健康クラブ in はっぴ～ 【地域貢献】 エコキャップ分別ボランティア エコキャップボランティアの日 【学習】 スマホクラブ、 ふくふく元気ファーム 【交流】 さくらんぼの会、に～よんサロン、 ふくふくうたごえ広場 リバーサイドふようふくみみ広場 さざんかシニアカフェ、ふくふくカフェ 【その他】 ちょこっと♡助っ人ポイント制度
講座等の開催	通年	新たな担い手の発掘及び養成を目的とした講座を実施 ・スマホサポーター養成講座 ・ボッチャボランティア養成講座 等
活動の場の発掘・開発	通年	社会福祉施設などの空きスペース情報についてヒアリングを実施
サービス実施情報の 周知等	通年	西淀川区(得)に～よん参考書シリーズの周知及び活用 西淀川区(得)に～よん参考書～コミュニティ情報編～ の更新 西淀川区(得)に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～ 別冊こんなときどうする？お役立ち一覧の更新
ニーズと地域資源の マッチング	通年	社会福祉施設などの空きスペースの活用、活動者との マッチング

5 生活困窮者自立相談支援事業

社会的孤立・経済的困窮により生活困難を抱える方々の早期把握と自立に向けた支援を株式会社アソウ・ヒューマニーセンターと共同体として取り組んだ。

(1) 相談窓口の運営

① 相談受付・提案（支援と解決につながる具体策の提案・紹介）

区役所生活自立相談・就労支援窓口より情報提供

事業名	時期	内容
相談受付・対応	通年	相談受付：1, 306件（前年度1, 258件）
		家庭訪問・同行支援：71回（前年度82回） 関係機関等訪問：17回（前年度43回）
		就労支援プラン作成：31件（前年度38件） （一般就労31人）

6 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業の窓口として、さまざまな生活課題を抱える人たちに対して支援を行った。また、収入減少や不安定就労によって生活が安定しないなど、貸付金の償還が難しい方には、生活困窮者自立相談窓口と連携し、生活再建に向けたフォローアップ支援を行った。

(1) 相談窓口の運営

① 生活福祉資金貸付事務事業の推進

- ・相談対応、貸付、民生委員・児童委員へのつなぎ、特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

事業名	時期	内容
生活資金等の相談受付・対応	通年	総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 ・電話：760件 窓口：249件 申込書配付：77件 申請数：54件（総合1・教育15件・福祉22件・小口16件）
		特例貸付の借受人へのフォローアップ支援 ・電話：2,917件 窓口：190件 猶予申請数：190件

7 介護予防事業（なにわ元気塾）

地域の集会所などで、65歳以上の方を対象に、生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的に、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど、自立した活動的な生活を送っていただけるよう、感染予防対策をとり、事業を実施した。

(1) 介護予防事業（なにわ元気塾）

① 介護予防教室（体操やレクリエーション、音楽、手工芸など）

事業名	時期	内容
介護予防教室 (なにわ元気塾)	通年	柏里地域①：135人（前年度 164人）
		柏里地域②：120人（前年度 102人）
		野里地域：123人（前年度 80人）
		歌島地域：199人（前年度 203人）
		香簀地域：141人（前年度 140人）
		竹島地域：84人（前年度 66人）
		佃地域：248人（前年度 213人）
		大和田地域：111人（前年度 108人）
		千舟地域：109人（前年度 97人）
		姫里地域：158人（前年度 117人）
		姫島地域：238人（前年度 244人）
		福地域：91人（前年度 88人）
		大野百島地域：164人（前年度 120人）
		川北地域：94人（前年度 136人）
		出来島地域：258人（前年度①138人） （前年度②174人）
		合計回数：180回（15会場×12回）
		合計人数：2,273人（前年度2,190人）

8 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送られるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理・預かりサービスを行った。

(1) あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の推進

・福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理・証書等の預かりサービスを実施

事業名	時期	内容
あんしんさぼーと事業（日常生活自立支援事業）	通年	講師派遣・業務説明件数：19件（前年度16件） 内訳 研修会への講師派遣 0件（前年度 0件） 関係会議等での説明 7件（前年度 6件） 視察・見学での説明 0件（前年度 0件） その他事業説明 12件（前年度10件）
		サービス利用件数：61件（前年度59件） 内訳 認知症高齢者等 19人 知的障がい者等 18人 精神障がい者等 24人 その他 0人 契約締結件数：7件（前年度8件） 契約解約件数：5件（前年度11件） 新規相談件数：52件（あんしんさぼーと事業利用について新規に相談のあった件数）
		相談延べ件数：5,448件（前年度5,500件） 電話・来所：認知症高齢者等 1,313件 知的障がい者等 604件 精神障がい者等 1,777件 その他 25件 訪問：認知症高齢者等 535件 知的障がい者等 476件 精神障がい者等 717件 その他 1件

9 地域包括支援センター事業

歌島中学校下と佃中学校下における地域包括支援センターとして、介護や福祉、保健、医療などのサービスが包括的かつ継続的に提供される「地域包括ケア」を支える中核機関としての役割を推進した。

※区内には、高齢者人口に沿って、2箇所の地域包括支援センターが大阪市からの委託を受け運営

※本会が運営する「西淀川区地域包括支援センター」は歌島・佃中学校下圏域を担当し、社会福祉法人博陽会が運営する「西淀川区南西部地域包括支援センター」は淀・西淀中学校下圏域を担当

(1) 包括的・重層的な相談支援強化

① 総合相談支援

ご本人やその家族・親族の抱える多様な相談を受け止め、さまざまな社会資源の活用を促すとともに、地域や関係機関（専門機関、行政等）との連携に努めた。

② 権利擁護

高齢者の権利擁護のため、高齢者虐待への対応や、判断能力が不十分な認知症の方などへの成年後見制度の活用に向けた支援を行い、高齢者への消費者トラブルや特殊詐欺などへの注意喚起や被害防止に関する啓発に取り組んだ。

事業詳細	時期	内容
総合相談業務	通年	相談実人員：852人（前年度1,009人） 内 認知症疑い有：270人 訪問による相談実人員：513人
		相談延べ件数：9,280件（前年度8,393件） 内 訪問・出張：1,627件 電話：6,737件 来所：873件 その他：43件
		相談内容 家族・家庭問題：419件、経済・生活問題：1,557件 介護サービス：2,963件、介護予防サービス：1,891件 介護予防・日常生活支援総合事業：249件 福祉サービス：293件、保健・医療サービス：1,020件 虐待に関すること：585件 成年後見制度の活用：188件 生きがいつくり：35件、その他：80件
権利擁護	通年	高齢者虐待受理・対応件数 ・前年度より継続対応：8件 ・令和7年度受理分：39件
		成年後見制度申立て支援 ・前年度より継続対応：4件 ・令和7年度受理分：19件
		消費者被害防止のための取り組み ・地域包括支援センターちらしに特殊詐欺記事を掲載 ・NN ニュース withTY に警察からの記事を掲載 ・見守り新鮮情報（国民生活センター）等の情報発信

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 介護支援専門員への支援

介護支援専門員からの個別相談に対する助言や支援ならびに、介護支援専門員等多職種対象の研修の開催や情報提供による支援を行った。

② 多職種との連携・協働

個々の高齢者の状況変化に合わせたケアマネジメント実施のために、介護支援専門員、医療機関、介護サービス事業者、生活支援コーディネーター、在宅医療・介護連携支援コーディネーター等が円滑に連携できるよう、介護支援専門員同士のネットワーク構築、連携体制づくりに取り組んだ。

事業名	時期	内容
介護支援専門員の支援	通年	介護支援専門員からの個別相談：1,653件 (前年度1,281件)
		居宅介護支援事業者連絡会の開催支援 ・居宅介護支援事業者連絡会：6回 ・居宅介護支援事業者運営委員会：7回
		介護支援専門員等多職種対象の研修会：5回（前年度4回） 「高齢者虐待防止のための研修会」等
多職種との連携・協働	通年	専門機関・行政・地域等との連携 ・ネットワーク構築のための会議：147回 ・地域との関係づくり：84回

(3) 地域ケア会議

① 地域ケア個別会議

地域住民、関係機関の多様な視点で検討を行うことにより、個別ケースにおける課題解決に取り組んだ。

② 自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議含む）

高齢者の自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援するための会議を開催した。

③ 地域課題整理のための地域ケア会議

地域ケア個別会議、自立支援型ケアマネジメント検討会議等から見えてきた地域課題（案）について多職種、地域住民等で検討し、取りまとめた。

④ 振り返りのための地域ケア会議

高齢者支援の質の向上をめざすため、包括で支援したケースについて、関係機関とともに振り返り、課題の共有を図った。

事業名	時期	内容
個別ケース検討の 地域ケア会議	通年	個別ケース検討：22回
自立支援型 ケアマネジメント検討会議	通年	8回（小会議含む）
地域課題整理のための 地域ケア会議	通年	2回
事例検証・振り返りのための 地域ケア会議	通年	1回

（４）家族介護支援事業

① 家族介護者のつどいの場

家族介護者が悩みを共有し、情報交換する場を開催した。

② 介護への理解を深めるための啓発の推進

介護を行っている方、これから介護を担う可能性のある方等を対象に、介護の方法や、介護に備えるための情報提供を目的とした講座を開催した。

事業名	時期	内容
家族介護者の つどいの場	毎月第2木曜日 （ひまわり） 毎月第3木曜日 （ひょうたん） 毎月第4金曜日 （さくらんぼ）	○「ひまわりの会」（家族介護者の会） 12回 延べ参加者 60人 ○「ひょうたんの会」（男性介護者の会） 12回 延べ参加者 28人 ○「さくらんぼの会」 （認知症当事者と家族が一緒につどう場） 11回 延べ参加者 268人
にしよど介護 予習スクール	10月7日	「食べる力は生きる力～高齢期の食事についての 話～」 参加者 12人

（５）指定介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

要支援者等が要介護状態となることを予防し、自立した生活を送ることができるよう、本人の意思を尊重し、生活の質の向上に資するサービスの提供、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みなどを支援した。

事業詳細	時期	内容
指定介護予防支援事業	通年	令和8年3月時のケアプラン作成：349件
介護予防ケアマネジメント	通年	令和8年3月時のケアプラン作成：193件

- ※ 介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス(訪問型サービス、通所型サービス)のみを利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ 指定介護予防支援事業は、介護予防サービス(訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、福祉用具貸与等)を利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ ケアプラン作成数は、給付管理数を記載

10 老人福祉センター事業

高齢者の各種相談に応じ、高齢者の生きがいつくり、健康づくり、地域への福祉活動を支援することを目的として管理運営を行った。

(1) 西淀川区老人福祉センターの管理運営

① 生きがいつくりへの支援

・高齢者のQOL (quality of life) を向上させるための「安心できる居場所」を提供し、「生きがいを持った暮らし」の場づくりとしてセンターを活用いただいた。

② 健康づくりへの取り組み

・介護予防・健康づくりに取り組む地域づくりとして、「なにわ元気塾」事業が実施され、当センターも共催。「おとなのてらこや」の開催、「いきいき百歳体操」の普及促進、新規事業などに取り組んだ。

③ 世代間交流の促進

・高齢者と子どもたちを含む地域住民とのふれあいの中で、高齢者に地域の担い手としての「生きがい」「喜び」を感じていただくことに努めた。

④ 老人クラブ活動の支援

・区老人クラブ連合会の事務局と連携し、区老人クラブ連合会の活動を支援した。

事業詳細	時期	内容
センターの運営	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用人数：16,726人(前年度：15,814人) ・登録者数：541人 ・総合満足度：91.4%

事業詳細	時期	内 容
生きがいつくりへの支援	通年	講座・イベント活動：313回／3,075人 (手作り・切り絵・ぬりえ・紙バンド教室・ハンドメイド、奏筆、スマホ教室、ふれあい健康麻雀、お誕生日会・発表会、囲碁・将棋など)
	通年	サークル活動：8,367人 (編物・生花・健音体操・水彩画・カメラ・習字・ペン習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・太極拳・リズム体操・3B体操・フラダンスなど)
健康づくりへの取組み	通年	「いきいき百歳体操」：119回／1,456人 「PPK体操」：8回／120人 「おとなのてらこや(認知症予防)」：8回／166人 「すこやか健康体操」：6回／168人 「歯科講演会」：1回／26人 「チェアヨガ」：10回／198人 「ソウルダンスベーシック」：6回／164人 「男の体操教室」：3回／37人
世代間交流の促進	通年	「に～よん文庫」：108回／367人 「作品展」の開催：2日間／244人 「将棋にチャレンジ」：2回／13人
老人クラブ活動の支援	通年	区老人クラブ連合会事務局との連携 「区民まつり」「作品展」「お誕生日会」「いきいき講演会」「女性部民踊」などの活動支援

1.1 子育て活動支援事業

「西淀川区子ども・子育てプラザ」の管理運営と、「地域子育て支援拠点事業(つどいの広場事業)」などを通じて、乳幼児期の親子、子育て支援関係者や子どもたちが集い交流する機会を提供するなど、子育て世帯や子ども達の支援を展開した。

(1) 大阪市子育て活動支援事業

- ① 子育て情報の収集、管理、提供 (区内子育て支援情報誌の発行協力、ホームページの更新、「プラザイベント情報紙」の発行など)
- ② 地域の自主的な子育て活動支援 (運営面での助言・場所の提供・「保育ボランティア養成講座」の開催)

- ③ 子育て中の親子の支援（子育て支援講座や学べる機会を提供）
- ④ 児童の健全育成（自由な遊びの機会・ふれあいの機会の提供、出前講座）
- ⑤ 地域関連・その他（「に～よん文庫」、「多文化交流」など）

事業詳細	時期	内容
プラザ（全体）	通年	開設日数：307日（前年度305日） 延べ利用人数：18,557人（前年度19,794人）
登録者数（全体）	通年	乳幼児：756人、小学生以上：304人 合計：1,060人（前年度1,017人）
	通年	子育てサークル：0団体 一般グループ：4団体 大阪市利用団体：1団体
ホームページ	通年	「にしよどこそだてほっとえーる」随時更新
プラザイベント情報紙	通年	プラザイベント情報紙の発行：68,720部
子育て活動支援事業	通年	開設日数：307日（前年度305日）
自主的な活動支援	通年	ボランティア講座、サロン等への支援：159人
子育て中の親子支援	通年	<遊び場の開放・講座>118回・3,120人 （ベビーマッサージ&親子ヨガ、リユースフェア、保育園幼稚園の選び方と申し込み方、トイレトレーニング講座、音楽の日など）
児童健全育成	通年	自由あそび、体験活動等：321回・2,642人 （スライムづくり、ダンス教室、エコバック作り、けん玉検定会、クリスマス会など）
区事業	通年	えほん展、に～よん文庫：57回・727人
一般利用	通年	利用回数：177回・2,037人

(2) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）の推進

- ① ファミリー・サポート・センター事業の推進（子育て援助を行いたい人と援助を受けたい人をコーディネートするなど）

事業詳細	時期	内容
ファミリー・サポート・センター	通年	開設日数：307日（前年度305日）
会員状況	通年	依頼会員：72人、提供会員：29人、両方会員：6人、ペア数：75組、活動件数：429件
サブリーダー会議	7月4日 11月8日 2月27日	「サブリーダー紹介」、「学習会、交流会について」、「ファミサポ通信の内容について」など
交流会・学習会	10月11日 12月13日	「普通救命講習Ⅲ」 「プラバン製作とおはなし会」：10人
会報の発行	年4回	ファミサポ通信：422部

(3) 大阪市地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

- ① 子育て親子の交流の場の提供（「つどいの広場」の実施）
 ② 子育て相談（日常的な相談、子育て支援室や関係機関との連携を強化）
 ③ 子育て支援に関する講習（竹島・出来島での「ミニつどいの広場」の実施、子育て支援情報の提供、「子育て支援講座」や「お誕生会」の開催）
 ④ ブックスタートの実施

事業詳細	時期	内容
つどいの広場	通年（週5日）	開設日数：249日（前年度253日） 利用者数：8,044人（前年度7,598人）
相談と援助	通年	相談件数：240件（前年度467件）
子育て支援講習	通年	ミニつどい等 26回、参加者数：417人
ブックスタート	通年	プラザ・竹島地域・出来島地域・各サロン 実施回数：28回、参加者数：139人